



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年7月12日 No.341

東京新幹線運輸区の設備改善

傷害事故防止のための

矢印ステッカーを設置

身だしなみ等をチェックするための

姿見鏡を設置

東日本ユニオンの要求実現！

2021年3月ダイヤ改正から使用開始となった東京新幹線運輸区の職場環境について、東日本ユニオンは同区を利用する組合員の声をもとに設備等の改善を求めて、新幹線統括本部に「東京新幹線運輸区の設備改善に関する申し入れ」を提出しました。

7月12日に開催した団体交渉で、新幹線統括本部は「必要な対策は行っている」「新たに設置する考えはない」とした回答を示しましたが、東日本ユニオンは「安全・安定輸送」の確保をはじめ、傷害事故防止や新型コロナウイルス感染予防対策について、実際に利用する現場社員の視点から設備改善の必要性を強く訴えました。

今回私たち東日本ユニオンが要求し、団体交渉議論を通じて要求の一部が実現しました！

【主な団体交渉議論】

・新幹線運転状況および駅在線を確認できるモニターを、食事優先エリアにあるモニターで表示すること。

→異常時などで新幹線の運転状況および駅在線確認を必要とする場合は、モニター表示を切り替えることは可能。

・一斉放送が乗務員エリア全体で聞こえるようにすること。

→音量調整などの対策は講じているが、聞こえない時は当直助役に申し出ていただきたい。

※そのほか「乗務員のカバン置き場」と「上着等をはかけることのできる設備」の増設、乗務員・食事優先エリアから「視認性のよい掛け時計」の増設、洗面台に「うがい薬やコップの常備」などの新型コロナウイルス対策について「現状を見て検討していく」ことを確認しました！

労働組合に加入して要求しよう！